

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-540278(P2009-540278A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-513608(P2009-513608)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	15/02	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/574	Z N A A
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 N	15/00	C
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 P	35/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アネキシンA3の存在及び／又は量について、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシンA3に特異的な抗体を用いて試料を分析する、癌の診断方法。

【請求項2】

癌が、尿生殖器及び／又は消化管路の癌、特に前立腺癌である、請求項1記載の方法。

【請求項3】

抗体が、モノクローナル抗体、特にキメラの又はヒト化したか又はヒトのモノクローナル抗体である、請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】

抗体が、アネキシンA3のN末端に、特に、ヒトのアネキシンA3のアミノ酸1～16の領域内のエピトープに対して指向している、請求項1から3までのいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

抗体が、ハイブリドーマ細胞系列により產生された抗体tgc 5 ProIIG7 (DSM ACC2788) , tgc 6 ProIIIG11(DSM ACC2779), tgc 7 ProVII5C5 (DSM ACC2780), tgc 8 ProIIIE1 (DSM ACC2781), tgc 13 ProI/5G9, tgc12 ProII/4B11 , tgc 14 ProVIII/3D7又はアネキシンA3上の同じエピトープに結合する抗体から選択されている、請求項1から4までの

いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

抗体が、

- (i) V R D Y P D F S P S V D (配列番号 1)、
- (i i) M L I S I L T E R S N A (配列番号 2)、
- (i i i) G D F R K A L L T L A D G R R D E S L K V D E H L A K Q (配列番号 3)、
- (i v) K L T F D E Y R N I S Q K D I V D S I K G E L S G (配列番号 4)、
- (v) I M V S R S E I D L L D I R T E F (配列番号 5)、
- (v i) Y S A I K S D T S G D Y E I T L L (配列番号 6)

又は、少なくとも 6 アミノ酸の長さを有するこの部分的な連続配列

から選択される配列を含む、アネキシン A 3 上のエピトープに対して指向されている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

細胞外アネキシン A 3 の存在及び / 又は量及び / 又は細胞内アネキシン A 3 の存在及び / 又は量を決定する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

診断が、この疾病段階の決定を含み、有利にはこの際、前癌段階及び癌段階の間の少なくとも 1 つの区別化を実施する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

他のアネキシンに対して低い交差反応性を有する、アネキシン A 3 に対して特異的な少なくとも 1 つの抗体を含有し、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである、前立腺癌の診断のための試験剤。

【請求項 10】

癌の治療のための医薬品の製造のための、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシン A 3 に対して特異的な抗体の使用であって、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである使用。

【請求項 11】

癌の治療のための医薬品の製造のための、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシン A 3 に対して特異的な抗体を活性剤として含有し、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである医薬組成物。

【請求項 12】

他のアネキシンに対して低い交差反応性を有し、有利には請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである、アネキシン A 3 に対して特異的な抗体。

【請求項 13】

請求項 12 記載の抗体を產生する細胞。

【請求項 14】

免疫化剤の製造のための、天然のヒトのアネキシン A 3 の使用。

【請求項 15】

ヒトのアネキシン A 3 に対して指向したヒトの抗体を產生するための方法において、この抗体をヒトの試料から產生することができる B 細胞を単離し、この抗体をこの B 細胞又は細胞、例えばこの細胞に由来するハイブリドーマ細胞から獲得することを含む、ヒトのアネキシン A 3 に対して指向したヒトの抗体を產生するための方法。